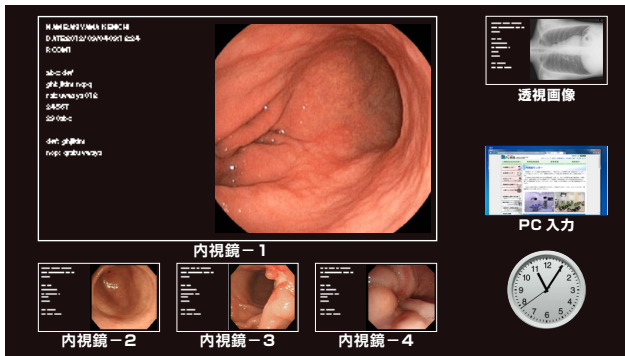


映像分野において培ってきた技術を医療現場へ

株式会社朋栄は、確かな技術とお客様からの要望への対応力で世界の放送市場から評価を頂いている映像機器メーカーです。

内視鏡カメラ映像信号表示装置

マルチビューワー MV-1200A **4K**ULTRA HD



ディスプレイにカメラ映像をはじめ 必要な情報を統合表示



MV-1200A

◀画面レイアウトイメージ

■デジタルとアナログが混在した映像信号に対応

ビデオ信号(HD/SD/アナログ/HDMI対応)に対応しています。例えば検査室映像(検査室の監視カメラ映像/アナログコンポジット)、内視鏡映像(内視鏡/HDMI-SDI)、PC入力(電子カルテ、予約システム/DVI、HDMI入力)などを混在表示可能です。

■4種類のレイアウトを最大6画面に表示可能

最大4種類の異なるレイアウトを最大6つの画面に出力可能です。例えば医師控室で医師が見る映像と検査室内での確認用映像、処置室で看護師が見る映像など、それぞれのモニターに異なるレイアウトで表示することもできます。

■時計を画面内に表示可能

デジタル/アナログの時計を表示可能です。時計表示として使用しない場合は、カウントアップ/カウントダウンタイマーや残時間タイマーとして使用することが可能です。

■ストリーム出力、4K入出力に対応

出力映像をLAN経由でネットワーク上に転送でき、院内の別の場所でもリアルタイムで映像の確認が可能です。また4K入力にも対応しており、4Kカメラ映像のモニタリングも可能。さらにはHD映像を4Kにアップコンバートすることも可能です。

導入事例のご紹介 ~PL 病院 内視鏡センター様~

医療法人宝生会PL病院様(大阪府富田林市)は、2016年に現在の低層棟西館の完成に合わせて内視鏡センターを移設し、検査室を2室から4室へと増室しました。これらの検査室で、1日あたり合計20~30回行われる内視鏡検査の映像をモニタリングするための内視鏡・透視室モニタリングシステムの画面分割器として、MV-1200Aを導入いただきました。システムは、オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社様のもとで、朋栄が現地施工・設定を行いました。同院 内視鏡センター センター長の岡崎博俊先生にお話をうかがいました。

マルチビューワー導入のきっかけを教えてください。

検査室が2室から4室に増えたため、4つの検査室(内視鏡室3、透視室1)で行われる検査を医師控室で同時にモニタリングしたいのがきっかけです。内視鏡・透視室モニタリングシステムへの要望としてオリンパスメディカルサイエンス販売様に、①4室の検査映像を同時にモニターできること②必要な時に必要な映像だけを拡大表示でき、必要な映像を録画できるようにすること③検査医が待機する医師控室で確認/設置するのに必要なモニターサイズを伝えて機材選定をお願いしたところ、画面分割器としてMV-1200Aを紹介いただきました。

どのように運用されていますか？

内視鏡センターでは、モニタリング用に毎朝最初にMV-1200Aの



PL病院 内視鏡センター 岡崎博俊センター長

電源を入れて、1日の検査終了後に電源を切る流れで、内視鏡センターが開いている間は常に電源が入ったままになっています。モニターは、医師控室と洗浄室、処置スペースの3カ所に設置されています。医師控室には55インチディスプレイを壁面に配置。3室の内視鏡室の内視鏡映像、透視室の内視鏡/透視映像、検査予約PC画面、時計を組み合わせ表示しています。普段は、4室の内視鏡映像を4分割表示するか、いずれか1室の内視鏡映像を大きく表示し、その他の映像を周りにL字に配置した表示をしていることが多いです。洗浄室と処置スペースのモニターは、4室の内視鏡映像を4分割表示に固定して表示しています。

(裏面に続く)

朋栄のマルチビューワーで複数の検査室の内視鏡映像を情報端末の画像と一緒に一括表示できます。複数の部屋から検査進行状況を必要なレイアウトで確認できます。

導入して検査はどう変わりましたか？

検査開始や検査終了のタイミングが分かりやすくなりました。これまでは、助手が検査医や洗浄員に口頭で検査の準備完了や終了を連絡していました。MV-1200A導入後は、検査室で内視鏡が繋がれば医師控室に映像が出力されるので、検査医は検査準備が整ったと判断して検査室に向かいます。検査終了時も、洗浄室にいる洗浄員が内視鏡が取り出される映像から検査終了のタイミングを判断し、検査室で検査医から使用済みの内視鏡を受け取っています。口頭での連絡が不要になり、検査の流れがスムーズになりました。

検査中、難しい症例で検査医が判断に迷う時はインカムを通じて医師控室と連絡し合いますが、医師控室でも同じ内視鏡映像を

拡大表示して確認できるので、検査内容を把握し指示を出しやすくなりました。

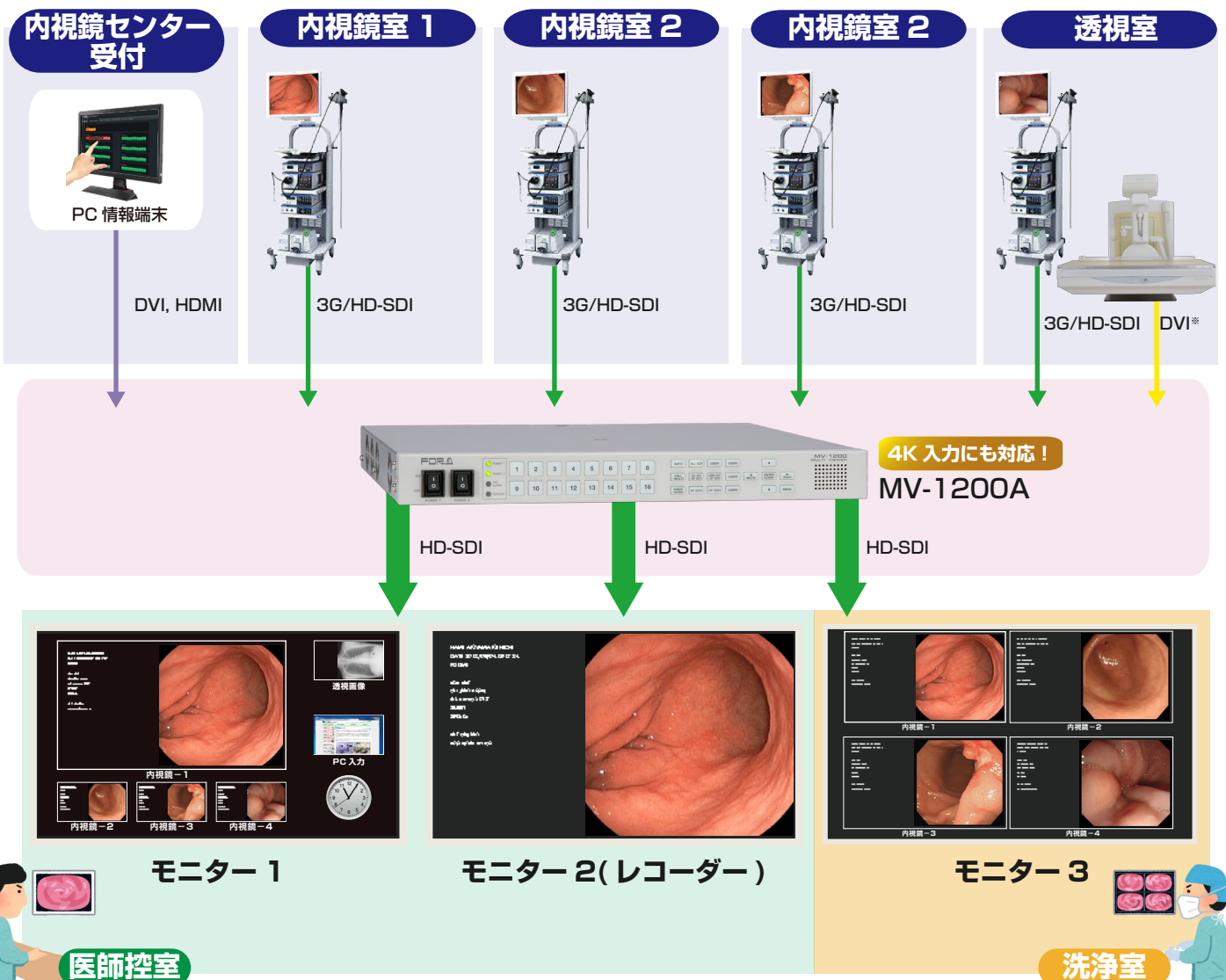
MV-1200Aの使い勝手はいかがですか？

PC画面も同時に入力できるなど機能的には十分です。検査映像のほか、検査予約PCの画面や時計などを組み合わせながらレイアウトをプリセットしています。本体前面パネルで分割パターンを変更できるため使いやすいです。長時間の運用でも安定動作しており、満足しています。

取材協力

医療法人宝生会 PL病院 内視鏡センター様：www.plhospital.or.jp
〒584-8585大阪府富田林市新堂2204 Tel. 0721-24-3100
オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社 泉佐野営業所様：
〒598-0047大阪府泉佐野市りんくう往来南2-2りんくうエルガビルディング6階
Tel. 072-463-3330
(インタビュー：2018年7月)

■PL病院様システム例



※ マルチビューワーへの入力は、画像信号の種類によりコンバーターまたは変換ケーブル等が必要です。